

令和 6 年 9 月 2 6 日

第 6 学年保護者 様

加古川市立神野小学校
校長 安 茂 聖 二

令和 6 年度 神野小学校 全国学力・学習状況調査の結果について

秋晴の候、保護者の皆様におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申しあげます。

平素は、本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

さて、先日お返ししました全国学力・学習状況調査の結果ついて、本校の分析結果と今後の取り組みについてお知らせします。この分析結果を踏まえて、全教職員で児童の学力をさらに伸ばせるよう努めてまいります。

今後とも、児童の学力向上とより良い学習習慣の定着のために、ご家庭のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

1 学力調査の結果について

国語科は、全国平均をやや上回る正答率でした。特に、情報と情報との関連付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるかどうかをみる問題において優れていました。しかし、選択肢に書かれている内容を比較・分析して適切なものを選択することや、目的や意図に応じて事実と感想、意見とを区別して書くこと、「競技」という漢字を正しく書くことにおいては課題が見られました。

算数科は、全体的に全国平均より高めの正答率でした。特に数量の関係を□を用いた式に表す問題や、直方体の見取図の辺として正しいものを選ぶ問題において優秀でした。また、小数の割り算や、円グラフの読み取りなど、知識・技能に関する問題においても成果が表れています。

一方、直径 22 c m のボールがぴったり入る箱の体積を求める問題や、どちらが速いかを判断し、そのわけを記述する問題においては課題が見られました。

2 学習状況調査の結果について

「朝食をきちんと取る」「決められた時刻に就寝・起床をしている」という項目で全国平均以上に肯定的な回答が多く、ほとんどの児童が規則正しい生活が送れていることを示す結果となっています。また、「学校に行くのは楽しい」「地域や社会をよくするために何かしたい」「自分には良いところがある」といった項目でも全国平均以上に肯定的な回答が多いのも特徴の一つであります。これらは、学校での人間関係の良好さの現れであり、また、家庭や地域等での多くの方々からの支援を受け、前向きで素直にがんばる神野っ子の良い姿勢の現れでもあると感じます。

また、家庭で 1 時間以上学習する児童の割合（平日で 62.9%、休日は 58.1%で、1 時間未満も含めると平日 98.3%、休日 88.7%）や、課題の解決に向けて自分から取り組む児童の割合（85.4%）も全国平均より多く、今後も良き習慣として大切にしたいと思えます。

SNS や動画を 3 時間以上視聴する割合は 19.4%（全国 20.7%）と全国と同程度ですが、携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方で「家の人との約束がない」と回答した割合が 19.4%（全国 9.8%）であったことが気になるところです。

3 今後の取り組みについて

<学力面>

朝の学習時間や家庭学習を活用し、漢字を含めた国語科の基礎的な言語事項、算数科の計算や用語等の基礎知識などについて繰り返し復習し、さらなる定着を図ります。また、文章から読み取った情報を整理し、考えを条件に合わせた的確に表現する力を培ったり、論理的思考力を高め、考えを正確に説明できる力を育成したりするための授業改善に取り組みます。

<学習状況面>

これからも友達との絆や規則正しい生活リズムを大切にし、また、家庭での学習習慣をさらに充実させるための取り組みも進めていきたいと思えます。ご協力よろしくお願いいたします。